

平成30事業年度

決算報告書

第15期

自：平成30年4月 1日

至：平成31年3月31日

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学

平成30年度 決算報告書

国立大学法人奈良先端科学技術大学院大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	6,074	6,070	△ 4	(注1)
施設整備費補助金	—	100	100	(注2)
補助金等収入	485	397	△ 87	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	21	21	—	
自己収入	707	683	△ 24	
授業料、入学金及び検定料収入	572	551	△ 21	
雑収入	134	131	△ 2	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,553	1,750	197	(注4)
目的積立金取崩	52	35	△ 16	(注5)
計	8,893	9,058	164	
支出				
業務費	6,271	5,704	△ 567	
教育研究経費	6,271	5,704	△ 567	(注6)
施設整備費	—	121	121	(注7)
うちRI設備等の整備事業	—	99	99	
うち災害復旧事業	—	1	1	
補助金等	485	397	△ 87	(注8)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,553	1,618	64	
長期借入金償還金	562	562	△ 0	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	21	—	△ 21	(注9)
計	8,893	8,404	△ 489	
収入-支出	—	654	654	

○予算と決算の差異について

(注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった特殊要因経費(退職手当及び年俸制導入促進費)が51百万円交付されたこと、また運営費交付金に計上した債務繰越分が予算段階の金額よりも56百万円少額であったことにより、予算金額に比して決算金額が4百万円少額となっております。

(注2) 施設整備費補助金については、予算段階では予定していなかった平成29年度施設整備費補助金の繰越による交付があったこと、また平成30年度施設整備費補助金が交付されたことにより、予算金額に比して決算金額が100百万円多額となっております。

(注3) 補助金等収入については、予算段階の金額よりも受入額が少額であったことにより、予算金額に比して決算金額が87百万円少額となっております。

(注4) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、主として受託研究等の受入額の増加等が要因となり、予算金額に比して決算金額が197百万円多額となっております。なお、決算金額については前期からの繰越金85百万円を含んでおります。

(注5) 目的積立金取崩については、予算段階で予定していた取崩事業が発生しなかったことにより、予算金額に比して決算金額が16百万円少額となっております。

(注6) 教育研究経費については、主として経費の節減により、予算金額に比して決算金額が567百万円少額となっております。

(注7) (注2)に示した理由によること、また予算段階では施設費交付事業費21百万円を大学改革支援・学位授与機構施設費納付金に計上していたため、予算金額に比して決算金額が121百万円多額となっております。

(注8) (注3)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が87百万円少額となっております。

(注9) (注7)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が21百万円少額となっております。